

和歌山県立医科大学附属病院 整形外科

当科の特徴

整形外科専門医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、進歩する医学の新しい知識と技術の修得に日々邁進し、運動器に関わる疾患の病態を正しく把握し、高い診療実践能力を有する医師です。

整形外科専門医の取得を目指して、初期研修後、新専門医制度に準拠した和歌山県立医科大学整形外科専門研修プログラムに従って研修を行います。専門医取得までの4年間は原則として症例数豊富な当科関連施設をローテートします。

整形外科専門医を取得した後、サブスペシャリティとして脊椎脊髄外科、関節外科、手の外科、骨・軟部腫瘍、小児整形、スポーツ医学などの専門分野での専門医を目指した診療に携わっていきます。

また、学問として研究するための博士課程大学院への進学が可能であるほか、手術手技を含む治療技術を学ぶために各分野における

国内トップクラスの施設に留学することが可能です。

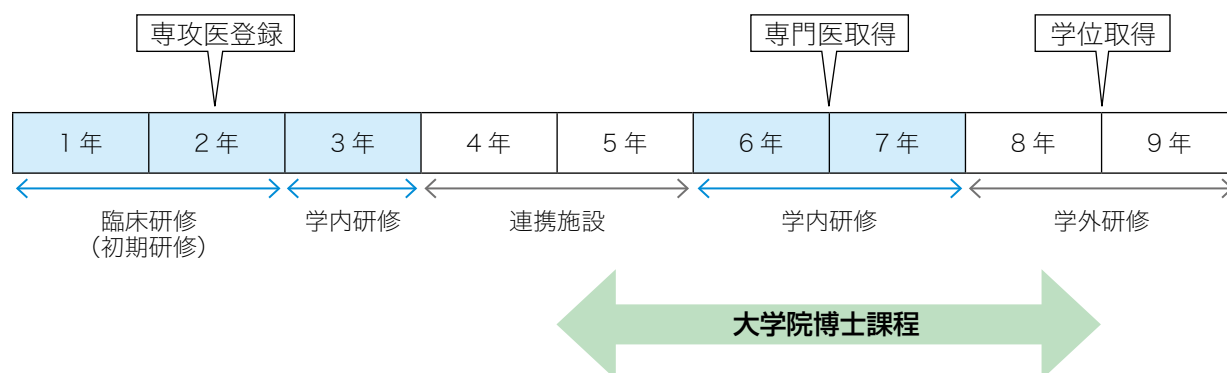
大学院では、脊椎変性疾患を中心とした病態解明のために地域住民健診からのコホート研究、先端医療技術の開発、脊髄内痛覚伝達機序の解明などの疼痛関連研究、脊髄機能モニタリングに関する研究などのテーマを中心に、基礎・臨床的な面からのテーマを各自に与えます。学位取得後は、海外への研究留学も可能です。



ローテーション例

一般枠コース

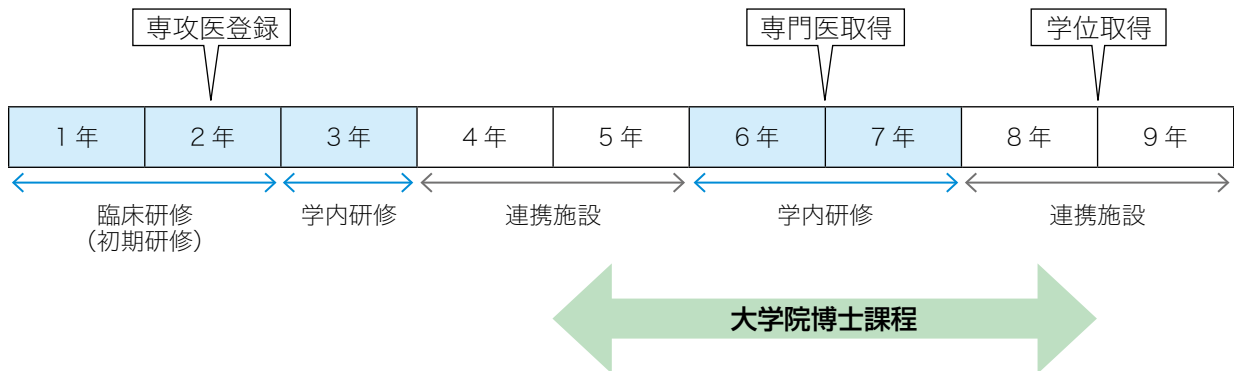
※ □ は学内研修



一般枠医師については、プログラムのローテーションに従って研修を行います。

専門医取得後は、サブスペシャリティに応じて研修を行い、サブスペシャリティ専門医の取得が可能です。

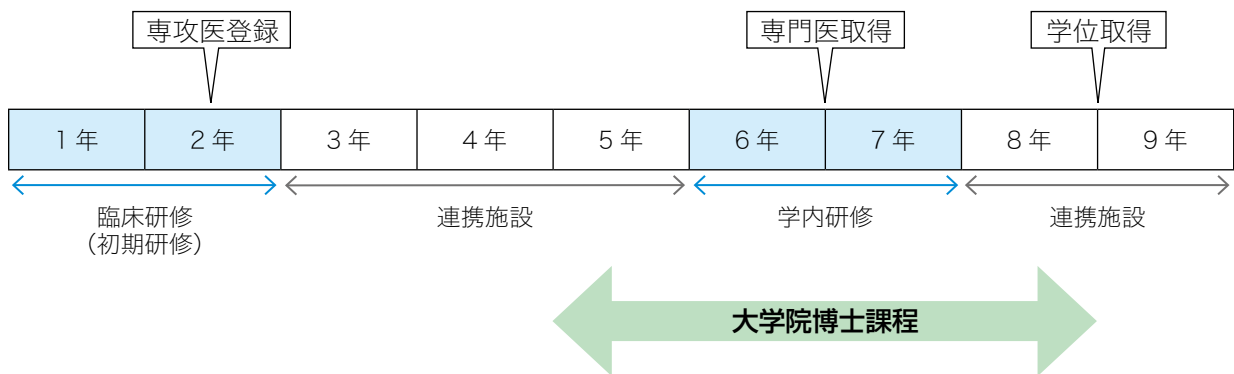
ローテーション例 県民医療枠コース ※ □ は学内研修



県民医療枠は3年目は基幹施設である和歌山県立医科大学附属病院で研修を行います。

希望者は関連病院で研修中も大学院への進学が可能で、研究日に大学に通って学位取得のための研究を行い、9年目には学位取得が可能です。

ローテーション例 地域医療枠コース ※ □ は学内研修



地域医療枠コースでは初期研修の終了後、へき地医療拠点病院等で研修を行います。これらの病院は当科の関連施設に含まれており、この間も週1回は専門研修が受けられるので、7年目には専門医の取得が可能です。

研修目標

当科での研修では以下の能力を身につけることを目標としています。

1. 自ら診断し、執刀する能力
2. 最先端手術手技の習得と実施する能力
3. 自ら考え、研究する能力
4. 国内外の学会で研究成果を発表する能力

経験目標

- 骨折・外傷 50 例
- 人工関節手術 20 例
- 脊椎手術 20 例
- 関節鏡視下手術 20 例
- 小児整形外科疾患 10 例
- 骨軟部腫瘍 10 例
- 手外科手術 10 例

教授からのメッセージ



山田 宏 教授

超高齢社会が強く求める安心・安全な低侵襲手術の研究・開発を広く行い、卓越した低侵襲手術手技を有する職能集団の育成につとめ、世界を先導する低侵襲手術手技を実践することで、和歌山医大のさらなるブランド化を推し進めるのが、私の夢です。整形外科医を目指す若手の先生方で、私どもの講座の目指す方向性と外科医育成のポリシーに賛同する方がおられましたら、是非当講座の門をお叩き下さい。



整形外科学講座での研修、入局をお待ちしております。



最先端脊椎固定手技である低侵襲側方侵入椎体間固定術中の手術風景



人工関節置換術の手術風景。関節外科においても低侵襲手術を行っている。



先端器機である術中 CT 撮影(O-arm)による術中診断およびナビゲーション利用への応用



当科が得意とする内視鏡下脊椎手術の手術風景

当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	整形外科専門医	脊椎脊髄外科指導医	脊椎内視鏡技術認定医
和歌山県立医科大学附属病院	15名	6名	5名
和歌山ろうさい病院	7名	1名	1名
済生会和歌山病院	4名	1名	
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	5名	3名	2名
海南医療センター	2名		
公立那賀病院	4名		
橋本市民病院	3名		
有田市立病院	2名		
済生会有田病院	2名		
ひだか病院	3名	1名	
国立病院機構南和歌山医療センター	4名		
紀南病院	4名	1名	
新宮市立医療センター	3名		
国保野上厚生総合病院	2名	1名	